

B.「豊かな水を育む森林づくり」のため

次のような事業を実施しています。



豊かな森林の土壌は、小さな隙間が多く、例えるとスポンジのような状態になっています。このため、豪雨の際にも水を吸い込み、ゆっくりと時間をかけて良質な水を送りだしてくれます。

近年、生活水準の向上等に伴い、首都圏の水利用量は年々増加しており、雨が少ない年は、深刻な渇水が生じやすくなっています。水資源の安定的な確保のために、健全に森林を整備することが必要になっています。



貯水ダムと上流域の森林

水源地域の広葉樹林を対象に、大径木を育成する育成天然林の整備を行っています。



育成天然林施業（秩父市）

①水源のかん養を目指した森林づくり

ダム上流等の水源地域に対し、洪水や渇水を防止するため、荒廃地の復旧に合わせ健全な森林へ導くための森林整備を行っています。

樹木が過密となって下層植性が消滅し、表土が流出している森林の整備や、水源かん養機能を高度に発揮するための複層林や育成天然林の造成などが実施されています。



水源地域の透水ダム工

人工林の下層に、異なる樹種を植栽する複層林整備を行っています。



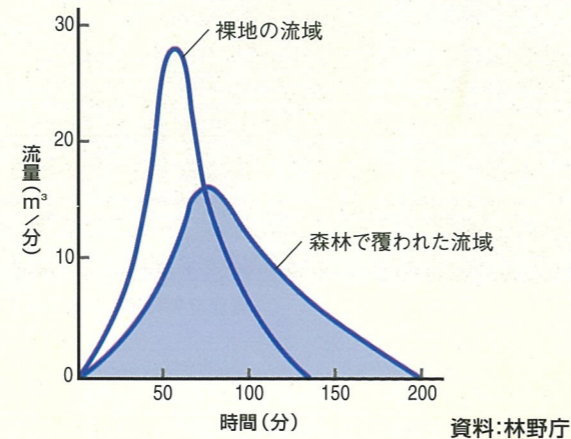
スギとイチイの複層林（神泉村）



スギとヒノキの複層林（飯能市）

●洪水時に流量を減らす

降雨後、良好な森林で覆われた流域では、川の増水がゆるやかで、最大流量は、裸地の流域に比べると約半分（58%）となっています。



資料:林野庁

② 美味しい水を育む森林づくり

雨水が森林土壌の中をゆっくり時間をかけて流れる間に、水に混った不純物をろ過し、おいしく良質な水を与えてくれます。

このため、水源地域では、森林の維持造成により森林が育む美味しい水の維持・確保を図っています。



埼玉の銘水と水源の森

平成7年に選定された「水源の森百選」では、埼玉県内から次の2ヶ所の森が選定されています。

1 日本水(やまとみず)の森 (寄居町)

埼玉県北西部の荒川支流、風布川の源流にある森林で下流の寄居町に生活用水や農業用水を供給しています。区域内には、名水百選にも選ばれた「風布川・日本水」という湧水があります。



2 城峰神乃泉水源の森 (神泉村)

下久保ダム(神流川)の上流域230haの森林で、村内2集落に水道水を供するとともに、首都圏の重要な水源になっています。



この地域は、人工林が多く、よく手入れがなされた美しい森林が保たれており、城峰山の湧水は「神乃泉水」として親しまれています。

問い合わせ先

- 1 日本水の森：寄居町 048-581-2121(代)
- 2 城峰神乃泉水源の森：神泉村 0274-52-3271(代)

C. 「潤いのある森林づくり」を目指し

豊かな環境の創造を図っています。



健全で豊かな森林は、私たちに潤いを与えてくれるだけでなく、動植物の生息環境としても必要です。豊かな自然を有する地域などでは、自然との調和をテーマに事業を進めています。

① 生き物にやさしい環境づくり

近年、治山事業実施においても野生生物の生息環境の保全、景観や自然環境に配慮した施設づくりが重要視されています。ヤマメ、イワナなどの溪流魚が生息する溪流での治山施設(治山ダム等)では、魚など、水生生物の移動を助ける魚道の設置を行っています。

また、ホタルなど水辺の生物の生息環境を維持するため、護岸構造などに工夫をしています。

らせん魚道(大滝村)



ヤマメ



イワナ



ホタルの乱舞



ホタルの生息環境の保全に配慮した流路工(吉田町)

②豊かな生活環境を保全し、潤いを与える森林づくり

森林に接するとホッとする時があるように、身近にある健全で美しい森林は、豊かな生活環境を保全し、潤いと安らぎをもたらしてくれます。近年では、アロマセラピーの一環としても注目されています。

このため、県民が身近に利用できる潤いの場としての森林づくりを進めています。



県民の森（横瀬町）



ふれあいの森（大滝村）



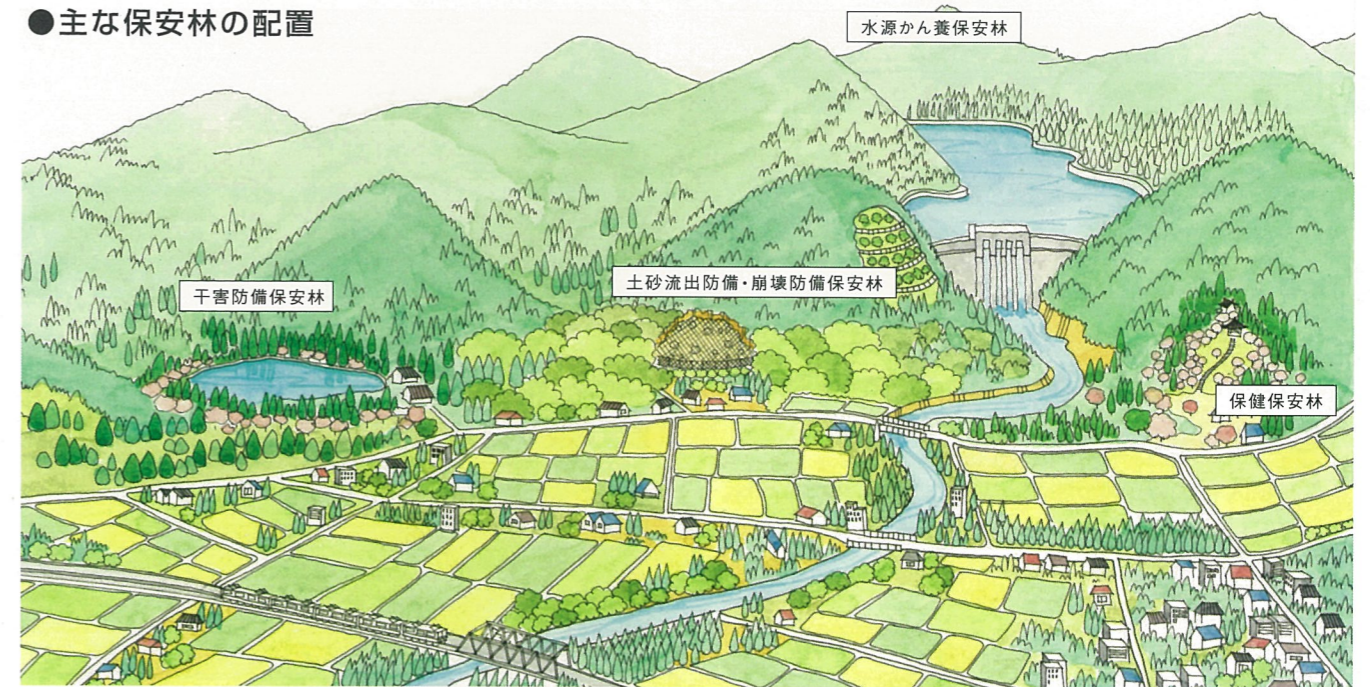
IV 保安林とは？

森林は、木材などを生産するほか水を育み、山くずれや洪水などの災害を防ぎ、人に安らぎを与えてくれるなど多くの働きがあります。この働きを特に強化し守らなければならない重要な森林を森林法により指定したものが「保安林」です。

治山事業は、保安林の働きを十分に発揮するために行う事業で密接な関係にあるわけです。

保安林では森林を将来にわたり適正に維持するため、土地所有者への制限と優遇措置があります。

●主な保安林の配置



なお、保安林は目的により17種類ありますが、主なものは次のとおりです。

水を育む

■水源かん養保安林、干害防備保安林

山は、森林を育む母体です。大雨が降っても、草や樹木に覆われた山は、土壌が雨水を吸収して川へ流れ出る水量を調節し、洪水を緩和します。そして、地下に貯えられた水は、晴天が続いても絶えることなく川に注いでいます。

これは、森林が水を吸収し、貯留する能力のあるスポンジのような土をつくっているからです。



水源かん養保安林